

教科名	保健体育	科目	体育選択	週授業時間	1 時間
-----	------	----	------	-------	------

### 1. 教科書および副教材・参考書

保健体育（大修館書店）

### 2. 授業の目標および内容

コロナウィルスの蔓延による休校期間が長く、生徒が運動に慣れていないことや登校再開後の感染防止対策の必要性を考慮し、1学期は密を避けた状態で体づくり運動やコーディネーショントレーニング、縄跳びを行う事とし、以下の種目は2学期より開始する。

#### <剣道>

自己の能力に適した課題を持って行い、その技術を身につけ、相手の動きに対応した攻防を展開して練習や試合ができるようにします。伝統的な行動のしかたに留意して、互いに相手を尊重し公正な態度がとれるようにします。

#### <ダンス>

体を動かすことの楽しさや心地よさを味わい、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めます。仲間と一緒にコミュニケーションを深め、仲間との関わりの中で互いの良さを認め合うこと、みんなで協力することの楽しさを学びます。また、グループで役割分担をし、練習方法や発表の仕方を工夫したり、発表会の運営、鑑賞の態度を身につけます。

#### <器械運動>

各種の器械を利用し、回転・跳躍・腕支持・懸垂などの運動を行うことによって、全身的な筋力・敏しょう性・巧緻性などの能力や、日常生活では経験できない運動をすることによって、身体支配能力も養います。

### 3. 試験について

	1 学期		2 学期		3 学期	
定期試験	一次 なし	二次 なし	一次 なし	二次 なし	期末 なし	
学力試験	第1回 なし		第2回 なし		第3回 なし	

筆記試験は行いませんが、各学期それぞれの種目につき、技能テストを実施します。

### 4. 課題・補習について

特にありませんが、病気・怪我等で実技テストを受けられない場合、課題等提出を求める場合があります。

### 5. 評価の視点

実技点 70 点（自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに、体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けます。）

参加点30点（欠席・見学・服装・態度・遅刻に関して減点対象とします。）  
 以上100点満点で、実技70% 武道・ダンス・器械運動30%で換算します。

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	体づくり運動 コーディネーション 縄跳び	コロナウイルス感染防止の為、当分の間は密を避けた上で体づくり運動や縄跳び等、1人でも行える運動を行う。	
2 3 共通	体育祭練習  剣道  ダンス  マット運動	自校体操 人間ブリッジリレー  ・立礼 正座 座礼 ・竹刀の点検と取り扱い方 ・竹刀の名称 ・竹刀の持ち方 構え方 ・基本動作 足さばき 基本打ち 上下素振り (胴の打ち返し)  ・縄跳び ・ストレッチング ・体ほぐし・体づくり運動 ・いろいろなリズムの体験 ・いろいろなステップの習得 ・課題のダンスの習得 ・練習 発表  マット運動 前転 後転 開脚前転 開脚後転	※2クラス同時開講 2クラスを3つの 集団に分け、ローテ ションして行う。よ って所属集団により種 目の実施時期は異な る。  例A・B組 ①A・B組 女子 ②A組 男子 ③B組 男子  下記の3つの種目を ローテーションして 行う  1、剣道 2、ダンス 3、器械運動